

平成26年度【学校自己評価】

学校の教育目標	楽しい学校・やり抜く子ども
重点目標	○ 学力の向上
	○ 笑顔で活動できる学校（クラス）
	○ 体力づくりの実践

評定判断基準	
A	達成率90～100%
B	達成率70～89%
C	達成率60～69%
D	達成率60%未満

重点目標	達成指標	達成指標評定	重点的取組	取組指標	項目評定	取組指標評定	総合評定	成果・課題及び具体的取組	担当部
3 学 期	学力の向上	A	楽しくわかる授業の日常化	始業式にて全校一斉の学習規律の指導。全クラスで学習規律の見直し。課題の質について共通理解する研修会を持つ。研究成果の見える化と意識化・実践化を図る。学習調査の分析を生かした教育糧の見直し。量と測定の内容の視覚化。	A	A	A	学力の向上に向けて授業改善の取り組みを進めてきた。何をやるのか何を考えればいいのか板書にしっかりと位置付いた授業が実施できるようになってきた。沖小タイムは暗唱やフリートークに子どもの意欲が見える。各単元ごとのテストでは、達成指標の60以下の子半減には至っていないが、中津市の学力調査ではどの学年も目標値を達成することができた。取り組みの成果が現れてきている。子どもの自主性を育む家庭学習についての指針は2月末までに打ち出すことができていない。	研究部
			どの子ども学ぶ意欲が持て、成果が見える沖小タイムの内容にする。	引き続きドリル学習と合わせて、意欲をそそるものや成果が見える物を実施し2月末にその成果をまとめる。	A				
			家庭学習の時間を保護者に記入してもらう。家庭での音読は保護者に評価していた。	子どもが学ぶ意欲を持つ家庭学習の在り方についてプロジェクトチームで検討し指針を打ち出す。2月末	B				
	笑顔で活動できる学校（クラス）	A	6年生の挨拶運動の展開（卒業後に向けての取り組み）を行い次年度の縦割り班挨拶運動につなぐ	すべての子どもが地域で挨拶できる。1学期は低学年86%・高学年79.2%。2学期は低学年83.3%・高学年76.9%	A	A	A	児童会の挨拶運動や集会での挨拶できるこの紹介、教職員の各学級での取り組みを行ってきたが、子どものアンケートの数字は横ばい状態である。子どもの側からの挨拶運動に対する盛り上がりが必要。ほめて自己肯定感を高めていく取り組みは全クラスで行われ縦割り掃除でも行ってきた。ほめられると答える子どもや学校が楽しいと感じる子ども(92%)が増えている。	生活指導部
			子どもを誉める時間と場を充実させる。4年生が試行的に誉め言葉のシャワーの取り組みを行う。	一人の子どもを暮らす全員や縦割り班で誉めることができる。アンケートで友だちや先生から誉められると答える子80%以上。1学期は低学年71%高学年72.9% →2学期は低学年73%・高学年76%	A				
			清掃活動の反省会を行う。	毎回誉め合って清掃意欲を向上	B				
	体力づくりの実践	A	休み時間の遊びを外遊びを中心に充実させる。遊びの広場週間をもうける。	体育委員会で貸し出すボールの種類を増やす。ミニサッカーエリア4コートを作る。ぐにゃぐにゃコンテストを2月に行う。	A	A	A	本校では、体育専科教員を中心にしてTTで体育の授業を行っている。子どもにつけたい力を明確にし、目当ての持たせ方、指示の仕方の打ち合わせを行うことで、子どもたちは自己の動きについての目当てをしっかりと持って生き活きと活動している。遅刻する子どもが限られてきた。	体育部
			体育専科教員を中心に系統的に運動ができるようにする。	身体諸機能の発達にムラがないよう年間指導計画をこまめに見直し、充実した体育授業ができるようにする。	A				
			生活習慣の確立を図るため、家庭との連携を強化する。遅刻0への取り組み	早寝・早起き・朝ごはん・睡眠時間の確保を通信・懇談会等で保護者に啓発していく。遅刻0運動、朝、遅刻者にはすぐに電話を入れる継続	B				